

令和7年度

# 事業報告書

北九州市社会福祉協議会  
地域福祉部 活動推進課  
(ボランティア・市民活動者の研修・養成事業)

## 目次

1 事業の総括 .....	1
2 研修実施状況一覧 .....	2
3 研修実施内容	
(1) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
○ 市民講演会 .....	5～7
○ 福祉有償運送運転協力者研修 .....	8～19
○ 子どもを支援するためのボランティア入門講座.....	20～21
○ 子ども食堂ボランティア活動体験講座.....	22～23
○ 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座.....	24～25
○ 障害のある人へのボランティア活動体験講座.....	26～27
○ 災害ボランティア養成講座 .....	28～31
(2) ボランティア・市民活動者のネットワークづくり	
○ まちづくりゼミナール.....	32～33
○ ボランティア・NPO 等団体運営研修.....	34～35
○ ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会.....	36～39
(3) 地域を支援する社協職員の育成	
○ 地域を支援するためのスキルアップ研修.....	40～42

## 1 事業の総括

当事業では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、孤独・孤立防止や助け合い活動をテーマに、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、延べ465人が研修を受講しました。

委託事業から補助事業への転換に伴い大幅な研修体系の見直しを行い、市民に向けたボランティア・市民活動者の育成とボランティア・市民活動者のネットワークづくりに照準を合わせました。それに伴い「ふくしのまちづくり講座」をはじめとした地域福祉活動の人材発掘や地域住民による小地域福祉活動の充実のための研修は、区事務所や地域支援課へ移管しました。

活動体験講座（子ども食堂ボランティア活動体験、障害のある人へのボランティア活動体験）では、受講者全員が活動に携わる意欲を持ち、そのうち4割についての活動先の調整を行うことができました。

また、「ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会」を実施し、団体間のネットワークづくりの支援と強化に努めました。

続いて、ボランティア入門講座（子どもを支援するためのボランティア、私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア）では、受講者の約8割が活動意欲を高めました。

## 2 研修実施状況一覧

### (1) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- 市民講演会 詳細 No.1
- 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.2
- 子どもを支援するためのボランティア入門講座 詳細 No.3
- 子ども食堂ボランティア活動体験講座 詳細 No.4
- 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 詳細 No.5
- 障害のある人へのボランティア活動体験講座 詳細 No.6
- 災害ボランティア養成講座 詳細 No.7

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
市民講演会	市民	1	1	1	42	11
福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体の運転協力者を希望する者	3	2	6	102 (うちセダ ン型26人)	5・9～ 10・1
子どもを支援するためのボランティア入門講座	市民	1	1	1	39	6
子ども食堂ボランティア活動体験講座	市民	1	2	2	18	10
障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 「私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア講座」	市民	1	1	1	20	8
障害のある人へのボランティア活動体験講座	市民	1	2	2	16	10
「災害ボランティア」養成講座(八幡東区)	市民	1	1	1	39	6
「災害ボランティア」養成講座(八幡西区)	市民	1	1	1	33	10
計		10	—	15	309	—

※新規で行ったテーマ別ボランティア活動体験講座では、研修後のアンケートによれば、今後ボランティア活動を“やってみたい”、“今後活動を検討する”という方が受講者全員であり、そのうち実際に活動先の調整や市子ども若者育成課と連携して子ども食堂の新規立ち上げ支援も行った。(7人、11回)

## (2) ボランティア・市民活動者のネットワークづくり

- まちづくりゼミナール 詳細 No.8
- ボランティア・NPO 等団体運営研修 詳細 No.9
- ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会 詳細 No.10

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
まちづくりゼミナール 「空き家の活用でまちを元気に！」	校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会役員、市民センター館長及びテーマに関心のある方	1	3	3	63	11～1
ボランティア・NPO 等団体運営研修～集まろう・つながろう・学び合おう！広報・発信のチカラ～	ボランティア・NPO 等団体のリーダー	1	1	1	15	8
ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会	ボランティア・NPO 等団体のリーダー	1	3	3	28	10～1
計		3	—	7	106	—

※ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会では、各団体に共通する「広報」をテーマに開催し、新たなメンバーの獲得や団体の周知・支援につながる手法を互いに学び合い、交流を深めました。

## (3) 地域を支援する社協職員の育成

- 地域を支援するためのスキルアップ研修 詳細 No.11

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
地域を支援するためのスキルアップ研修 ①「福祉教育を通じて地域の福祉力を高めよう」	社協職員	1	2	2	14	8
②「災害ボランティア活動支援のスキルを高めよう」					36	1
計		1	—	2	50	—

## 3 広報

資料名	掲載回数(部数)	発行日
研修レポート・講座案内等 (『北九州市社協だより』掲載)	9回 (WEB版掲載)	5月15日・6月15日・7月1日・ 7月15日・8月1日・9月15日・ 10月1日・12月1日・12月15日

「市民講演会」講座案内 (新聞掲載)	1回 (WEB版掲載)	10月29日～11月22日
パンフレット(ボランティア研修案内)「やさしさの広がるまちづくり」	2回(WEB版掲載) (1,450部)	4月30日
令和6年度事業報告書	1(HP掲載)	7月1日

#### 4 過年度の研修参加者の推移

##### (1) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R3	10	13	217
R4	10	13	249
R5	7	10	216
R6	7	10	196
R7	10	15	309

##### (2) ボランティア・市民活動者のネットワークづくり

年 度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R6	—	—	—
R7	3	7	106

##### (3) 地域を支援する社協職員の育成

年 度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R6	1	1	21
R7	1	2	50

##### (4) 延研修参加人員

年 度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853
R5	39	59	1,956
R6	23	36	1,263
R7	14	24	465

## 令和7年度 市民講演会 実施要領

# インターネットに潜む危険と大人たちにできること ～子どもや若者を被害者や加害者にさせないために～

- 1 目的** 近年ネットゲームや、SNS の普及によりネットトラブルが増加しています。人と人との関係性や「つながり」が希薄化する現代社会において、子どもや若者がネットの中に居場所を求めて孤立したり、気づかないうちに被害者にも加害者にもなってしまうこともあり、その対策が喫緊の課題となっています。

本講演会では、子どもや若者を取り巻く環境の現状や、インターネットを安全に使える知識、孤独・孤立を防ぐ環境整備等を学び、子どもや若者の異変に気づいた時、私たち大人ができることを考えます。

- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会

- 3 会場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）

- 4 対象者** テーマに関心のある方【定員90名】

- 5 受講料** 無料

- 6 日程・内容** 11月22日（土）13：30～16：30

詳細裏面参照

- 7 申込方法** チラシ裏面「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・電話でお申込みください。

チラシ記載のQRからGoogleフォームでの申込みも可能です。

受付締切：令和7年11月5日（水）12時まで必着

※応募多数の場合は抽選となります。受講の決定・研修詳細は、受付締切

後郵送にてお知らせいたします。

- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課

（研修担当：山田・南里）

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた 3F

TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

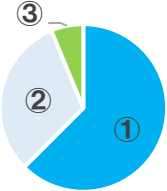
時 間	内 容
13 : 00～13 : 30	受 付
13 : 30～13 : 35	開会・オリエンテーション 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
13 : 35～13 : 50 (15min)	「北九州市こどもプランの取り組みについて」 講師 北九州市子ども家庭局 総務企画課 企画係長 江口 毅
13 : 50～14 : 15 (25min)	「子どもを取り巻く現状について」 講師 北九州少年サポートセンター 少年育成指導官 係長 上野 敬子
14 : 15～15 : 35 (80min)	講演 「スマホ社会の子どもたち ～子どもの現状と私たち大人ができること～」 講師 NPO 法人 子どもとメディア 常務理事/子どもとメディア認定 公式インストラクター 和田 貴美子
15 : 35～15 : 45	休憩
15 : 45～16 : 25 (40min)	パネルディスカッション 「子どもや若者を被害者や加害者にさせないためにまわりの大人ができることを考える」  講師 NPO 法人子どもとメディア 常務理事/子どもとメディア認定 公式インストラクター 和田 貴美子  講師 北九州少年サポートセンター 少年育成指導官 係長 上野 敬子  コーディネーター 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部長 平野 謙太
16 : 25～16 : 30	閉会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研修等 研日数	開催日数	研修時間	
	(男・女)	(定員に対する出席率)						
	44 人	42 人						42 人
	19 ・ 25	95.5 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
			20 57.1 %	10 28.6 %	2 5.7%	0 0 %	0 0 %
	35 件 83.3 %						



主な意見	■ 地域で何をするか、今できる気づきなどを大切にしていきたいと思いました。
	■ 今の時代の変化を考え、行動に移し、今後に生かせそうな話で良かった。
	■ 相談体制として、「YELL」「すてっぷ」等の支援センターがある事がわかり良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講演の内容について多くの受講者から有意義であると支持を得られたが、「パネルディスカッションでは、講演者側から伝えるだけでなく会場の参加者との質疑応答の時間が欲しかった。」等の声もあり検討事項もあった。
	■ 私たち大人が、子どもや若者にどう関わるべきかを考える機会を提供できたと思う。

■ 研修風景

「北九州市子どもボランティアの取り組みについて」		「子どもを取り巻く現状について」	
「スマホ社会の子どもたちと私たち大人ができること」		「パネルディスカッション 子どもや若者を被害者や加害者にさせないためにまわりの大人ができることを考える」	

— 令和7年度 第1回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 7,000円  
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000円  
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、団体経由での申込みが必要。  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** 裏面の通り  
※但し、②【セダン型研修】の受講は任意
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和7年4月3日(木)～令和7年4月30日(水)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の可否や研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせし、受講決定者には決定通知をお送りします。  
研修当日は決定通知書をご持参ください。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）  
担当：田中・南里  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両研修】

- (1) 日程・会場 令和7年5月17日(土) 9:15~18:25  
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
09:15~09:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
09:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	理学療法士 高塚 光	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

## ②【セダン型研修】

※福祉車両以外の自動車(セダン型)を使用して福祉有償運送を行う場合で、運転者が介護福祉等の資格を有していない場合、この【セダン型研修】を受講する必要があります。

- (1) 日程・会場 令和7年5月24日(土) 9:15~11:45  
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)  
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

### (3) 研修内容

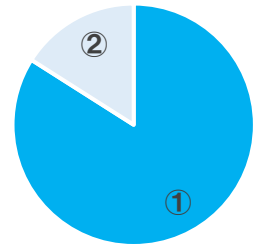
時間	内容		講師	研修会場
09:15~09:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
09:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	理学療法士 高塚 光	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	30 人	29 人	29 人	51.4 才		1 日	9 時間
	18 ・ 12	96.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	27 件 93.1 %	満足 できたか?	21 77.8 %	4 14.8 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 送迎する際、最も大切な事を学ぶ事ができたので、利用者の立場になって送迎を心がけていきます。
	■ 実際に福祉自動車を操作できて勉強になりました。
	■ 講習を通して、気が付かない危険なことや、より安全な運転を意識できるようになって良かった。質問にたくさん答えてもらってよくわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回から新たに福祉有償運送実施団体となったNPO法人より12名の申し込みがあった。全体として申込多数により定員を超えたため、抽選による受講決定となった。
	■ 受講者が積極的に実技に参加したり、質問したりする場面が多々見られたため、習得したスキルが利用者へのサービス向上へつながることと思われる。

■ 研修風景

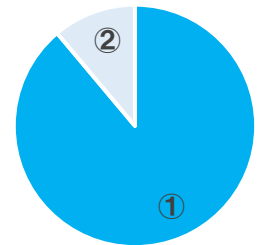
「関係法令等」講義		「障害の知識及び利用者理解」講義	
「福祉自動車運転方法」(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	16人	15人	15人	51.6才		1日	2.5 時間
	8・8	93.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	10件 66.7%	満足 できたか?	8 80%	1 10%	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者の方の歩行状態の把握と、ご家族や介護関係者さんとの連携が大切であることを理解しました。</li> <li>■ 座席の位置によるシートのホールド感の違いや車イスから車へ乗り込む時の介助や注意事項等、とてもわかりやすかったです。</li> </ul>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今回受講者 15 名のうち福祉有償運送実施団体から 14 名の受講があり、セダン型の受講が多かった。</li> <li>■ 今回から会場側の事情で実技会場の演習位置が移動した。広く使用できることは良かったが、幹線道路に近く、また、雨で路面が濡れていた影響で車道の反響音が大きく講師の声が聞き取りにくかった。次回以降、屋外マイク設備の使用や実技の場所について検討したい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和7年度 第2回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 7,000円  
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000円  
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、団体経由での申込みが必要。  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** 裏面の通り  
※但し、②【セダン型研修】の受講は任意
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和7年8月19日(火)～令和7年9月11日(木)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の可否や研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせし、受講決定者には決定通知をお送りします。  
研修当日は決定通知書をご持参ください。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）  
担当：田中・南里  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両研修】

- (1) 日程・会場 令和7年9月27日(土) 9:15~18:25  
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	理学療法士 高塚 光	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

## ②【セダン型研修】

※福祉車両以外の自動車(セダン型)を使用して福祉有償運送を行う場合で、運転者が介護福祉等の資格を有していない場合、この【セダン型研修】を受講する必要があります。

- (1) 日程・会場 令和7年10月4日(土) 9:15~11:45  
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)  
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

### (3) 研修内容

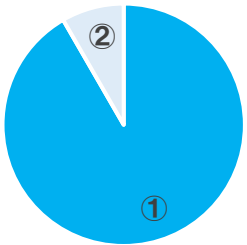
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	理学療法士 高塚 光	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	30 人	27 人	27 人	46.1 才		1 日	9 時間
	18 ・ 12	90 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかとい うと満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件 96.3 %	満足 できたか?	22 84.6%	2 7.7%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際に体験することによって、この業務の大変さや、やりがいを感じる事ができました。</li> <li>■ 身体の不自由な方の動きが分かり、私達は予測して動かないといけない事を学んだ</li> <li>■ 実際に車イスに移乗～車両に乗り込み走行するまでの流れが体験できて良かった。特に、車内での揺れの激しさは想定外であった。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大学からの実習生6名が午後の講義から参加した。休憩時間を利用してボランティアの方へ積極的に質問していた。</li> <li>■ 受講生に受講後の気付き等を発表してもらったところ、実技を通して利用者の気持ちが理解できたとの意見が多かった。今後の活動に活かしてほしい。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

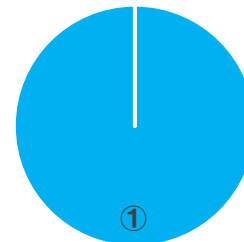
「関係法令等」講義		「障害の知識及び利用者理解」講義	
「福祉自動車運転方法」(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	5人	5人	5人	49.2才		1日	2.5時間
	2・3	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか という 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	5件		5		0	0	0
	100%		100%	%	%	%	%



主な意見	■ 車に乗り込む時、足から誘導してしまいがちですが、お尻を先にシートにつけて支持基底面を広くして、安定させるというのは、すごく勉強になりました。
	■ 介助する側、される側を両方体験できたことで、今後この様な機会があったら、この経験を活かして介助できたらと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新テキストに“看護師・准看護師のセダン型受講は免除”の旨、記述があると看護師免許取得の受講者から指摘があった為、次回の実施要領及びチラシで先の一文を追加することとした。
	■ 実技内容の一層の充実をはかる為、次回より視覚障害者体験用のゴーグル等を使用するなど、講師と検討したい。

■ 研修風景

「利用者理解及び乗降介助等の対応」 講義		「利用者理解及び乗降介助等の対応」 実技①	
「利用者理解及び乗降介助等の対応」 実技②		修了証書授与式	

— 令和7年度 第3回 —

# 福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。  
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等  
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30 人  
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 7,000 円  
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000 円  
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、団体経由での申込みが必要。  
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** 裏面の通り  
※但し、②【セダン型研修】の受講は任意
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和7年12月18日(木)～令和8年1月8日(木)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。  
※受講の可否や研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせし、受講決定者には決定通知をお送りします。  
研修当日は決定通知書をご持参ください。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）  
担当：田中・南里  
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた 3F  
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

## ①【福祉車両研修】

- (1) 日程・会場 令和8年1月24日(土) 9:15~18:25  
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

### (3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	理学療法士 高塚 光	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

## ②【セダン型研修】

※福祉車両以外の自動車(セダン型)を使用して福祉有償運送を行う場合で、運転者が介護福祉等の資格を有していない場合、この【セダン型研修】を受講する必要があります。

- (1) 日程・会場 令和8年1月31日(土) 9:15~11:45  
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)  
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士及び看護師・准看護師の資格を有していない方

### (3) 研修内容

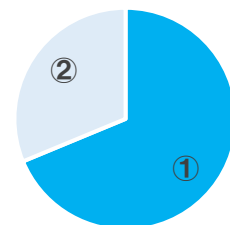
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	理学療法士 高塚 光	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	20 人	20 人	20 人	49.3 才		1 日	9 時間
	10・10	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義に	どちらか というと 有意義に	どちらとも 言えない	あまり 参考に ならない	全く 参考に ならない
	17 件	満足 できたか?	11	5	0	0	0
	85%		64.7%	29.4%	%	%	%



主な意見	■ 高齢者や病気のある方を乗せる時の注意点が知れてよかった。
	■ 目が見えない方の誘導や杖を実際に使った歩行、階段の上り下り等と実習することで大変勉強になりました。実際体験するととても理解しやすかったです。接遇に活かせると思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 実技演習で「運転できなかったのが残念だった」との声があり、確認したところ、講師によって演習人数のばらつきがあったので、参加の人数から割り出した演習人数を決めて、事前に講師に依頼する必要がある。
	■ 冬期の屋外での演習は寒く暗い為時間割の変更を予定していたが、講師の業務と重なり変更できなかった為、今回は現行通り実施して苦情が出た。改善したい。

■ 研修風景

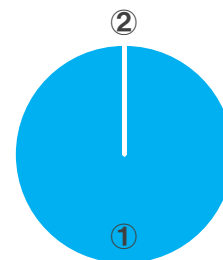
「関係法令等」講義		「障害の知識及び利用者理解」講義	
「福祉自動車運転方法」(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	6人 3・3	6人 100%	6人	50.8才		1日	2.5時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか というと 有意義だ	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	6 件 100%	満足 できたか?	5 83.3%	0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 普段気にすることがなかったことを整理することができた。
	■ 実際に体験することで、今後の介助方法を利用者さん目線で考えられるようになった。
	■ 実際の症例で考え、もしもの時の事をイメージすることができたのがよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容を充実させるため“高齢者疑似体験セット”を活用し、体に錘をつけて乗車体験をしてもらった結果、参加者が介助される側の目線になって介助方法を考えるきっかけになった。
	■ 今後も講義の内容を工夫し、相手に寄り添う気持ちを引き出し、サービスの充実につながるような研修を実施したい。

■ 研修風景

「利用者理解及び乗降介助等の対応」 講義		「利用者理解及び乗降介助等の対応」 実技①	
「利用者理解及び乗降介助等の対応」 実技②		修了証書授与式	

# 子どもを支援するためのボランティア入門講座 実施要領

- 1 目的** 子どもはみな、若木のように伸び伸びと健やかに育つ力を持っています。しかし、成長する過程では、学校や家庭のことで悩んだりするだけでなく、時には貧困、虐待、いじめによる不登校や自殺などの厳しい環境にさらされる時もあります。今回は子ども食堂の活動を通して、子どもの異変に気付いた時に子どもの思いを聞き、子どもの育つ力を助けられるようなボランティア活動への参加の契機を提供します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（講座当日に、現金で集金致しますので、お釣りのないようご準備ください。）
- 6 日程・内容** 令和7年6月28日（土）

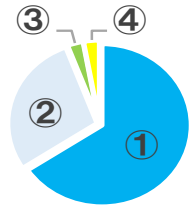
時間	内容	講師等
13:00 ～ 13:30	受付	
13:30 ～ 13:35	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35 ～ 14:15	北九州市の子ども食堂の取組み ～こどもの居場所づくりについて～	北九州市子ども家庭局こども若者育成課 居場所づくり担当係長 武田 典之
14:15 ～ 14:25	休憩	
14:25 ～ 15:25	きいと舎のこども食堂をはじめてみた	きいと舎 大島 理恵
15:25 ～ 15:30	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

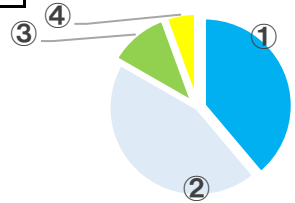
参加者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	42人	39人				1日	2時間
	5・37	92.9%	39人	62.8才			

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	38件 97.4%		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
		満足できたか?	23 60.5%	10 26.3%	1 2.6%	1 2.6%	0 0.0%



K P I	回答 (回収率)	ボランティア について	①	②	③	④
	38件 97.4%		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しないと思う
		活動希望	14 36.8%	16 42.1%	4 10.5%	2 5.3%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂は、ただ食事をする場所ではないのですね。地域や社会、人とのつながりを大切に、心を豊かに楽しくしてくれる場所なのですね。もっと、この和が広がっていくことを願っています。</li> <li>子ども食堂の事を初めて知りました。今後、ボランティアをしてみようと思いました。</li> </ul>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講後のアンケートでは、子ども食堂のボランティアを“やってみたい”“今後活動を検討する”と言う方が受講者39人中30人あり、十分な成果が得られた。</li> <li>子ども食堂の存在意義や、活動内容だけではなく具体的な事例や、事業費のやりくり、助成金についても理解を深めてもらい、活動のモチベーションアップにつながったと思う。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「北九州市の子ども食堂の取り組み」 ことこの居場所つくしについて	
「きいど舎」の子ども食堂をはじめ		「講座中のグループワーク」	

— 令和7年度 —

# 子ども食堂ボランティア活動体験講座実施要領

**1 目 的** 本講座は、子ども食堂でのボランティア活動に関心があり、活動してみたい方や活動への一歩を踏み出すことをためらっている方が、活動の基礎知識を学び活動を体験するための講座です。

ウェルとばたを会場に開催されるウェルカム地域食堂での活動体験を通して、経験を行動につなげて次の活動へ進んでいけるよう、ボランティア活動への参加の契機を提供します。

**2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会

**3 会 場** ウェルとばた一日目：12階 12HI 研修室 二日目：1階多目的ホール  
(戸畑区汐井町1-6)

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

**4 対 象 者** 子ども食堂でのボランティア活動に意欲があり二日間の出席が可能な方  
(定員 10名)

※応募者多数の場合は抽選させていただきます。また、「ボランティア活動証明書」の発行はありませんので、あらかじめご了承ください。

**5 受講料等** 受講料は無料ですが、子ども食堂での食事代 300円が必要。二日目の子ども食堂当日に現金で集金。

**6 日程・内容** 一日目 令和7年10月1日(水)

※一日目が台風等で延期になった場合は10月8日(水)を開催予備日とします。

二日目 令和7年10月15日(水) (子ども食堂開催当日)

※二日目台風等で延期になった場合は11月19日(水)を開催予備日とします。

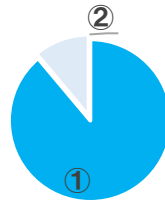
日 時	内 容	講師等	
<b>一日目</b> 10月1日 (水) 台風等で 延期の場 合は10月 8日(水) 予備日	14:00~	受 付	
	14:30~	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	14:35~ 15:25	ココロがつながるボランティア活動	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主事 長野 有花
	15:25~ 15:45	子どもも大人もウェルカム地域食堂について	北九州市母子寡婦福祉会 理事長 敷田 信代
	15:45~ 15:55	休憩	
	15:55~ 16:25	ウェルカム地域食堂での当日の活動について	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主任 立野 亜佐子
	~16:30	終了	北九州市社会福祉協議会
<b>二日目</b> 10月15日 (水) ※延期の 場合は11 月19日 (水) 予備日	16:45~	集合・身支度等準備	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主任 立野 亜佐子
	17:00~	会場準備	
	17:15~ 19:40	ウェルカム地域食堂でのボランティア活動 (配膳、食器の後片付け、食器洗い、会場片付け等)	
	19:40~ 19:50	まとめ・閉講	

■ 実施状況

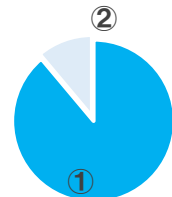
参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間	
	(男・女)	(定員に対する出席率)						
	20 人	9 人						18 人
	1・19	90.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	9 件 100 %		8 88.9 %	1 11.1 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回答	ボランティアについて	①	②	③	④
	(回数)		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しないと思う
	9 件 100 %		8 88.9 %	1 11.1 %	0 0 %	0 0 %



**主な意見**

- 何かボランティアをしたいけど、何からしたらいいかわからなかったもので、そのきっかけ作りになった。自宅周辺でもこんなに子ども食堂があることにびっくりした。
- 当日の活動の流れ、準備、注意点が詳しくわかり、心の準備ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講後のアンケートでは、今後ボランティア活動を“やってみたい”“今後活動を検討する”と言う方が受講者全員であり、そのうち7名について活動先の調整や市子ども若者成育課と連携して食堂の立ち上げ支援を行えた。
	■ 申込者は講座受講者ではなく、市政だより等告知を見た活動意欲の高い方であった。

■ 研修風景

開会		「子どもも大人もウェルカム地域食堂について」	
「ウェルカム地域食堂」での当日の活動について」		「ウェルカム地域食堂」でのボランティア活動(配膳、食器の後片付け、食器洗い、会場片付け等)」	

**-障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 実施要領-**

# 令和7年度 私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア講座

- 1 目的** 本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある人の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方に活動のきっかけをつくります。  
今回は、見えづらさや、聞こえづらさのある人とのコミュニケーションやサポートの仕方について学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 障害のある人に関わるボランティア活動に関心がある方（定員30名）  
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（講座当日に、現金で集金致しますので、お釣りのないようご準備ください。）
- 6 日程・内容** 令和7年8月23日（土）

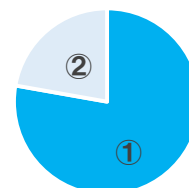
時間	内容	講師等
9:30~10:00	受付	
10:00~10:10	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10~10:30	「障害があるって？」	公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会 北九州市立東部障害者福祉会館 館長 森 聖子 時枝 義男
10:30~11:10	グループワーク 「伝えてみよう」 「私たちにできること」	
11:10~11:40	グループからの発表 ① 見えづらさのある人へ私たちができること ② 聞こえづらさのある人へ私たちができること	
11:40~11:50	まとめ・活動先紹介	
11:50~12:00	閉講	北九州市社会福祉協議会

■実施状況

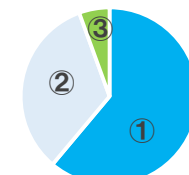
参加者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研修 日数等	開催日数	研修時間
	27人 7・20	20人 74.1%				1日	2日

■アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	19件 95.0%	満足 できたか?	14 73.7%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%



K P I	回答 (回答)	ボランティア について	①	②	③	④
			やってみたいと思う	情報集をして今後活動を始める	どちらとも言えない	しないと思う
	19件 95.0%	活動希望	11 57.9%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%



**主な意見**

- 障害のある人への接し方、一緒に生きていく事を学びました。今までは無関心と言うか、極力ふれないうえに位置に居たいと思います。自分で出来る範囲でやっていけたらと思う。
- 様々な角度から支援できると知りました。口話や、音声以外の方法でアプローチしていくことも取り入れていきたいと思っています。

■事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講後のアンケートでは、障害のある人へのボランティア活動を“やってみたい”“今後活動を検討する”と言う方が受講者20人中17人あり、活動のモチベーションに繋がった。
	■ 見えづらさや、聞こえづらさのある人に私たちが出来る配慮を皆で考えることで、今後のボランティア活動に活かせるコミュニケーションの取り方を多く学ぶことが出来た。

■研修風景



開会挨拶

「障害があるって?」

「伝えてみよう・私たちがどう関わり」

「グループからの発表」

## — 令和7年度 —

# 障害のある人へのボランティア活動体験講座 実施要領

- 1 目的** 本講座は、障害のある人へのボランティア活動に関心があり、活動してみたい方や活動への一歩を踏み出すことをためらっている方が、障害への理解を深め、活動の基礎知識を学び活動を体験するための講座です。  
市民とふれあいながら、障害のある人とボランティアが活動発表を行う文化祭「ふれあい広場」での活動体験を通して、経験を行動につなげて次の活動へ進んでいけるよう、ボランティア活動への参加の契機を提供します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた一日目：12階 12HI 研修室 二日目：2階 交流プラザ  
(戸畑区汐井町1-6)
- 4 対象者** ※駐車場の台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
障害のある人へのボランティア活動に意欲があり、二日間の出席が可能な方(定員20名)  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。また、「ボランティア活動証明書」の発行はありませんので、あらかじめご了承ください。  
※本講座では主催者側がボランティア行事用保険に加入します。受講者の経費負担はありませんが、万が一事故が起こった場合は保険の補償範囲の補償しかありませんので、あらかじめご了承ください。
- 5 受講料等** 無料
- 6 日程・内容** 一日目 令和7年10月2日(木)  
※一日目が台風等で延期になった場合は10月9日(木)を開催予備日とします。  
二日目 令和7年10月12日(日) (「ふれあい広場」開催当日)  
※二日目台風等で延期になった場合は11月30日(日)を開催予備日とします。

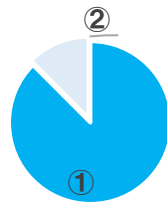
日時		内容	講師等
<b>一日目</b> 10月2日 (木) 台風等で 延期の場 合は10月 9日(木) 予備日	14:00~	受付	
	14:30~	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	14:35~ 15:25	ココロがつながるボランティア活動	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主事 長野 有花
	15:25~ 15:45	障害のある人へのボランティア活動と 障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる ふれあい広場	北九州市立東部障害者福祉会館 館長 森 聖子 時枝 義男
	15:45~ 15:55	休憩	
	15:55~ 16:25	「ふれあい広場」での当日の活動について	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主任 立野 亜佐子
	~16:30	終了	北九州市社会福祉協議会
<b>二日目</b> 10月12日 (日) ※延期の 場合は11 月30日 (日) 予備日	9:30~	集合・身支度等準備	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 主任 立野 亜佐子
	9:45~  14:30	開会式、会場準備・「ふれあい広場」での ボランティア活動(受付、案内、ス タンプラリー、アンケート配布・回 収) ※グループ毎に1時間昼食・休憩含む	
	14:30~ 14:40	まとめ・閉講	

■ 実施状況

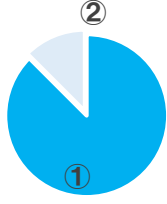
参加者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	8 人 3・5	8 人 100.0 %	16 人	59.5 才		延 2 日	延 7 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	8 件 100 %		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
		満足できたか?	7 87.5 %	1 12.5 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回答 (回数)	ボランティア について	①	②	③	④
	8 件 100 %		やってみたいと思う	情報集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しんどいと思う
		活動希望	7 87.5 %	1 12.5 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 障害のある方をより身近に感じることができました。また、ボランティアに参加されている方とも、お話や活動等を直接聞いて良かったです。
	■ はじめての体験としては軽く参加できてとても楽しかったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講後のアンケートでは、今後ボランティア活動を“やってみたい”“今後活動を検討する”と言う方が受講者全員であり、活動の契機を提供できたと思う。
	■ 市政だよりの記事に講座タイトルしか掲載できなかったため、「障害のある人へのボランティア」が介助等を連想させ参加者が少なかったと考えられる。次回検討したい。

■ 研修風景

開会		「障害のある人へのボランティア活動と障害の有無にかかわらず誰もが楽しめるふれあい広場」	
「ふれあい広場」での当日の活動に		案内・スタンパブリ、アンケート配布・回収」	

— 令和7年度 —

## 「災害ボランティア」養成講座(八幡東区) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。  
本講座では、災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えや、ペットとの同行避難等について学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。  
講座中では、さまざまな災害ボランティア活動もご紹介します。そして、その中から自分にあった活動を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** 八幡東区社会福祉センター（八幡東区西丸山町2-1）
- 4 対象者** 災害ボランティアに興味のある市民の方、校(地)区社協において災害時福祉救援体制づくりに取り組む新任役員等及び災害時相互協力協定締結団体の新会員の皆さま等々【定員 40 名】
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和7年6月25日（水）

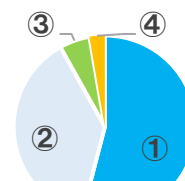
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 近藤 広一
	オリエンテーション	八幡東区社会福祉協議会
13:35~ 14:05	“災害時” ペットとの同行避難	北九州市保健福祉局保健衛生部動物愛護センター 動物愛護推進担当係長 仮屋園 弘志
~14:15	休憩	保存食の試食
14:15~ 15:15	災害時における行政の対応等について	北九州市危機管理室危機管理課 防災専門官 中島 典章
15:15~ 15:35	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 課長 南里 佳代子
~15:35	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

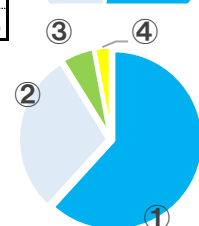
受講者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	45 人	39 人	39 人	66.8 才		延 1 日	延 2 週
	26・19	86.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	37 件 94.9 %		満足できた	どちらか いと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
			20 54.1 %	14 37.8 %	2 5.4 %	1 2.7 %	0 0 %



K P I	回答 (回収率)	ボランティア について 活動希望	①	②	③	④
	37 件 94.9 %		やってみ たい と思う	情報収集を して今後 活動を検討 する	どちらとも 言えない	しない と思う
			21 56.8 %	10 27.0 %	2 5.4 %	1 2.7 %



主な意見	■ 住んでいる団地はペット禁止の為当事者にはならないが、地域として考える時、特に避難所のあり方として新しい知見を得た。今後の参考にしたい。
	■ 災害について余りにも身近に考えていない事に気付きました。今後も少しずつ学んで行きたいと思えます。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 聴覚に障害のある方より受講申込の際に手話通訳の希望があった為、当初予算組みしていなかったが、障害者差別禁止法に基づき手話通訳者の派遣対応を行った。今後予算化が必要である。
	■ この講座を受けて、災害ボランティアを“やってみたいと思う(継続したい)”“今後活動を検討する”と回答した方が参加39人中31人いた。その中から2人の方の災害ボランティアの新規登録に結びついた。

■ 研修風景

開会挨拶		"災害時" ペットとの同行避難	
手話通訳の様子		災害時における行政の対応等につ	

— 令和7年度 —

# 「災害ボランティア養成講座」(八幡西区) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で大規模な自然災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。  
本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** コムシティ 3階 大会議室  
(八幡西区黒崎3丁目15-3)
- 4 対象者** 災害ボランティアに関心のある方  
【定員40名】(申込み多数の場合は、抽選させていただく場合があります)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和7年10月10日(金)

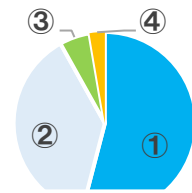
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開講	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 茅切 敦美
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35~ 14:05	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 課長 南里 佳代子
14:05~ 15:05	珠洲市の実体験から考える災害対応と支援について (ZOOM 講義)	珠洲市社会福祉協議会 珠洲ささえ愛センター 主事 神徳 宏紀
~15:15	休憩	
15:15~ 15:55	災害時における行政の対応等について	北九州市役所危機管理室 防災専門官 中島 典章
~15:55	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

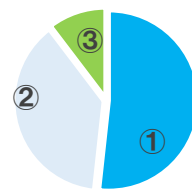
受講者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	37人	33人	33人	才		延 1日	延 2日
	30.7	89.2%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	32件 97.0%	満足 できたか?	21 65.6%	9 28.1%	2 6.3%		0 0%



K P I	回答 (回収率)	ボランティア について	①	②	③	④
			やってみ たいと思 う	情報収集を して今後 活動を検討 する	どちらとも 言えない	しないと思 う
	32件 97%	活動希望	15 46.9%	11 34.4%	3 9.4%	



主な意見	■ 声かけや会話を通して被災者の隠れたニーズを見つけるのはボランティアには必要だと感じました。
	■ 災害ボランティアとして被災者の精神的なケアを考えて対応しなければならないので、コミュニケーション技術を身に付けておく必要がある。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 珠洲市社会福祉協議会の方に ZOOM で地震や水害による災害対応や支援のあり方を講義頂いた。実体験に基づく講義は今後予想されている大地震に対する備えとなった。
	■ 講座後のアンケートでボランティアに関する質問を記入されている方が3名おられたが、無記名アンケートの為、どなたか特定できず回答できなかった。来年度はアンケートの記入様式を見直したい。

■ 研修風景

開会挨拶		災害ボランティア活動の基礎知識	
珠洲市の実体験から考える災害対応と支援について (ZOOM 講義)		災害時における行政の対応等について	

# — 令和7年度 —

## まちづくりゼミナール 実施要領

### 「空き家の活用でまちを元気に！」

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍するリーダーを支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。今回は、全国的に空き家問題が深刻になっている中、空き家を住宅確保要配慮者の住まいとして活用することはもちろん、地域の居場所づくり活動や多世代交流など、新たな出会いやつながりを生み出す場として活用することで、まちを元気にする取り組みについて一緒に考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対象者** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員  
市民センター館長及びテーマに関心のある方 30名
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 一日目 令和7年11月26日(水)  
二日目 12月10日(水)  
三日目 令和8年 1月14日(水)  
いずれも10:00～12:00

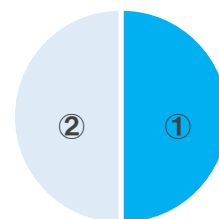
日程		内容	講師
一日目	11月26日(水)	10:05～10:55 「安らぐまちの実現に向けて」 ～本市における空き家の現状と対策～	北九州市 都市戦略局 都市再生推進部 空き家活用推進課 空き家活用係長 森迫 英夫
		11:05～11:55 「相談会に見る空き家の現状と課題」 ～相談会の現場から問題解決に向けて～	一般社団法人 空き家管理活用協議会 事務長 鎮守 邦喜
二日目	12月10日(水)	10:05～10:55 「未来を考える終活」 ～空き家になるのは今じゃない!!～	株式会社 イフケア北九州 終活カウンセラー 代表取締役 神田 紀久男
		11:05～11:55 「終活・家族会議のススメ」 ～エンディングノートの活用・相談窓口のご案内～	北九州市社会福祉協議会 終活安心センター コーディネーター 中山 浩子
三日目	1月14日(水)	10:05～10:55 「空き家を活用した“ふくじ”のまちづくり」 ～居場所・住まいづくりの取り組み～	一般社団法人 北九州未来づくりラボ 理事長 宮地 弘行
		11:05～11:55 グループワーク ～今、私たちにできること～	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	30 人	23 人	63 人	- 才			3 日	6 時間
	15・15	76.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり 満足できなかった	不満だった
	12 件		6	6	0	0	0
	63.2 %		50.0%	50.0%	0%	0%	0%



主な意見	■ 空き家活用に関する、実際の活動の事例、国の動きを知れて、とても良かった。地域の社会課題解決のために動けたらと思う。
	■ 今ある空き家への対応法はなかなか難しいところも多い。だからこそ私たちが空き家を作らないよう、家族と話し合うことが大切である。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 空き家問題専門の団体とNPO、地域団体等が連携して空き家を活用した“ふくし”をはじめとしたまちづくりの取組をしていることが参加者に共有できた。
	■ グループワークでの、意見交換・情報共有により、空き家活用や地域課題への取組手法の共有や疑問点の解消ができ、活動意欲の向上につながったと思う。

■ 研修風景

<p>「一日目」相談会に見る空き家の現状と課題 ～相談会の現場から問題解決に向けて</p>		<p>「二日目」未来を生きる終活～空き家になるのは今じゃない～</p>	
<p>「二日目」空き家を活用した「ふくし」のまちづくり～居場所・住まいづくりの取組み</p>		<p>「三日目」グループワーク ～今、私たちができること～</p>	

-令和7年度-

# ボランティア・NPO 等団体運営研修実施要領

## ～集まろう・つながろう・学び合おう！

### 広報・発信のチカラ～

- 1 目的** ボランティア・NPO 等の活動を始めたばかりの団体から活動中の団体まで広く集まり、グループの運営手法や活動事例を学び合い、団体同士の交流を通じて相互のつながりを促進し、ボランティア・市民活動の増進とスキルアップを図る研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** ボランティア・NPO 等で活動されている方【定員 30 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（講座当日に、現金で集金致しますので、お釣りのないようご準備ください。）
- 6 日時・内容** 令和 7 年 8 月 9 日（土）13:30～16:15

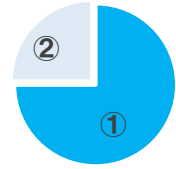
時間	内容	講師等
13:00 ～	受付	
13:30 ～ 13:35	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35 ～ 14:55	まずは知り合おう ～私の所属するグループ・団体紹介～  広報・発信のチカラで活性化を ～多くの人に活動を知ってもらいことから 始めてみよう～	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
14:55 ～ 15:05	休憩	
15:05 ～ 16:10	グループワーク ～いつ、どこで、誰に向けて、どんな活動 を、どのように？グループ毎にアイデアを 出しあって考えよう～  まとめ ～どんなアイデアが出た？いろいろな団体 が知恵を出しあい、学び合おう～	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
～ 16:15	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

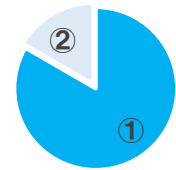
参加者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	18 人 12 ・ 6	15 人 83.3 %	15 人	59.8 才		延 1 日	延 3 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤			
	12 件 80.0 %		満足 できた	どちらか と言うと 満足 できた	どちら とも言 えない	あまり 満足 できな かった	不満足 だった	9 75.0 %	3 25.0 %	0 0 %



K P I	回答 (回答)	ボラン ティア につい て 活動 希望	①	②	③	④		
	12 件 80.0 %		やっ て み た い と 思 う	情 報 収 集 を し て 今 後 活 動 を 検 討 す る	ど ち ら も 言 え な い	し ん と 思 う	10 83.3 %	2 16.7 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大切なものを忘れずに、情報、思いを発信（伝えていく）ことの必要性を学びました。</li> <li>■ 皆さんが意見を出し合い、共通のマインドがあったことが非常に良かったです。</li> <li>■ 活動や思いを多くの人に知ってもらい、共感してもらうことが、仲間づくりに繋がって いくと思いました。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受講後のアンケートでは、今後ボランティア・NPOの活動を“やってみよう”“今後活動を検討する”と言う方が12人おられた。</li> <li>■ 団体の広報活動に留まらず、寄付金や運営経費、若年層の育成等の話は非常に参加者の刺激になり、今後の活動に対する士気の向上に繋がった。</li> </ul>
--------------------	---

■ 研修風景

<p>「まずは知り合おうと私の所属するグループ・団体紹介」</p>		<p>「広報・発信のチカラで活性化を多くの人に活動を知ってもらおうとかながら始めてみよう」</p>	
<p>「グループワークについて、どこで、誰に向けて、どんな活動をどのようにグループ毎にアイデアを出しあってみよう」</p>		<p>「まとめとどんなアイデアが出た？いろいろな団体が知恵を出しあい、学び合おう」</p>	

-令和7年度-

# ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会① 実施要領

- 1 目的** ボランティア・NPO 等団体に、継続した交流や学びの機会を提供し、ネットワークづくりの支援と相互のつながりを促進する勉強会です。今回は自分たちの活動をどう知ってもらうかをテーマに実施します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** ボランティア・NPO 等団体で活動されている方【定員 20 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日時・内容** 令和7年10月4日（土）14:30～16:15

時間	内容	講師等
14:00 ～	受付	
14:30 ～ 14:35	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:35 ～ 16:10	まずは知り合おう ～私の所属するグループ・団体紹介～  何を一番アピールしたい？ ～どう活動を知ってもらう？思いをカタチにしてみよう～	認定NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
※時間中に 10分 休憩を挟む	まとめ ～お互いの企画を見せ合おう・次回に向けて～	認定NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
～ 16:15	閉会	北九州市社会福祉協議会

-令和7年度-

# ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会② 実施要領

- 1 目的** ボランティア・NPO 等団体に、ネットワークづくりの支援と相互のつながりを促進する勉強会です。今回は自分たちの活動をどう知ってもらうかをテーマに実施します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** ボランティア・NPO 等団体で活動されている方【定員 20 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日時・内容** 令和7年11月8日（土）14:30～16:15

時間	内容	講師等
14:00 ～	受付	
14:30 ～ 14:35	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:35 ～ 16:10  ※時間中に 10分 休憩を挟む	和気あいあい アイสบレイク	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
	作成した広報企画を披露しよう！ ～まとめ～	
	もっと知りたい、学びたいことについて考えよう	
	まとめ～次回に向けて～	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
～ 16:15	閉会	北九州市社会福祉協議会

## -令和7年度-

# ボランティア・NPO 等団体つながり・勉強会③ 実施要領

- 1 目 的** ボランティア・NPO 等団体に、ネットワークづくりの支援と相互のつながりを促進する勉強会です。今回は自分たちの活動をどう知ってもらうかをテーマに実施します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）  
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** ボランティア・NPO 等団体で活動されている方【定員 20 名】  
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 無料
- 6 日時・内容** 令和 8 年 1 月 31 日（土）14:30～16:15

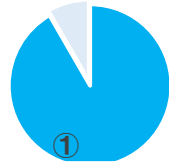
時間	内 容	講 師 等
14:00 ～	受 付	
14:30 ～ 14:35	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:35 ～ 16:10	和気あいあい アイスブレイク	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
※時間中に 10分 休憩を挟む	「今、私たちが知りたい、学びたいこと」	
	まとめ ～講座を受けた後、広報はどう変わった？お互いの企画を見せ合おう・次回に向けて～	
～ 16:15	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

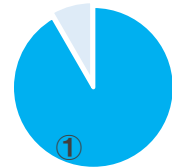
参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				3	5
	17人 12・5	13人 76.5%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	12件 92.3%		満足できたか?	11 91.7%	0 0%	0 0%	0 0%



K P I	回答	ボランティアについて	①	②	③	④
	(回数)		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しんどいと思う
	12件 92.3%		活動希望	11 91.7%	0 0%	0 0%



**主な意見**

- 今後の自分の活動や学習に役立つことが色々ありました。
- 活動分野が異なる為、新たな視点を得ることと、重なり合うゾーンが見えてくる。
- 次の一步が見え、やっていこうと思いました。

■ 事業点検

**点検・講評 (今後の取り組み)**

- 受講後のアンケートでは、今後ボランティア・NPO活動を“継続したいと思う”“やってみたい”と言う方が11人であり、活動意欲の向上につながったと思う。
- 3回目に勉強会での学びを活動に活かしている方々に発表していただき、会員獲得等の効果についても話が伺えた。アクションプラン作成ワークで活動の活性化への働きかけを行った効果を、次年度の勉強会で検証したいと思う。

■ 研修風景

<p>一回目「まずは知り合おうと私の所属するグループ・団体紹介」</p>		<p>一回目「何を一番アピールしたい?という活動を知ってもらおうと、思いをカタチにしてみよう」</p>	
<p>二回目「ワークの様子」</p>		<p>二回目まで「講座を受けた後、広報はどう変わったかお互いの企画を見せ合おう・次回に向けて」</p>	

## -地域を支援するためのスキルアップ研修①実施要領-

# 令和7年度 福祉教育を通じて地域の福祉力を高めよう

**1 目 的** 地域を支援する社協職員が、出前講演や福祉教育プログラム等を利用して地域の福祉力を高めるための実践力を習得するために、開催するもの。第一回目は、地域とよりよい関係をつくるためのポイントを確認して、これまでの実践を振り返るとともに、社協が学校に関わる意義を考えながら、「福祉でまちづくり」の主体を育てるために必要な知識やスキルを学び、地域支援力の向上を目指します。

**2 開催日時** 令和7年8月5日（火） 14：00～17：00

**3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）

**4 対 象 者** 社協職員（定員30名） ※ 定員を超える場合は調整します

### 5 内 容

日 時		内 容	講師等
13：30 ～14：00	30分	受 付	
14：00 ～14：05	5分	開講にあたって	地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美
14：05 ～14：25	20分	地域との関係づくりのポイント ～地域を子どもたちの学びの場にするために～	活動推進課 課長 南里 佳代子
14：25 ～14：55	30分	グループワーク ～“私”の実践と工夫を共有しよう～	地域福祉部 職員
	10分	休憩	
15：05 ～16：05	60分	「福祉でまちづくり」の主体を育てるための 福祉教育とは ～社協が学校に関わる意義を考えよう～	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
16：05 ～16：35	30分	グループワーク ～学びと気づき、これから実践したいこと～	地域福祉部 職員
16：35 ～16：55	20分	全体共有	
16：55 ～17：00	5分	閉講にあたって	地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美

## -地域を支援するためのスキルアップ研修②実施要領-

### 令和7年度 災害ボランティア活動支援のスキルを高めよう

**1 目 的** 地域を支援する社協職員が、出前講演をはじめとした地域の人材育成を行う際に必要となる知識やスキルを学び、支援力向上を目指します。

二回目は、災害支援をテーマとして、災害時に職員の誰もが即戦力になれるよう、災害VCの基礎知識や発災時の初動体制、支援のあり方などを学び、習得します。また、支援活動のベースとなる平時からのネットワークづくりの必要性についても再確認し、地域づくり支援へのモチベーション向上につなぎます。

※「令和7年度 災害支援に関する職員研修」を兼ねて実施するもの

**2 開催日時** 令和8年1月21日（水）14：00～17：00

**3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）

**4 対 象 者** 社協職員（定員30名）  
 ※ 定員を超える場合は調整します  
 ※ 経験の少ない人を優先します

**5 内 容**

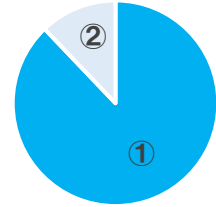
日 時		内 容	講師等
14：00 ～14：15	15分	開講にあたって 「北九州市社会福祉協議会 防災計画について」	総務企画部 部長 小田 光江
14：15 ～14：30	15分	災害VCとは？ なぜ社協が関わるのか？ 災害VC設置の判断と社協組織内での調整	活動推進課 課長 南里 佳代子
14：30 ～15：10	40分	テーマ1 「平時からのネットワークづくりと 発災時の地域との関わり・情報収集」 講義：20分 GW：20分	八幡西区事務所 事務所長 茅切 敦美
15：10 ～15：20	10分	休憩	
15：20 ～16：00	40分	テーマ2 「現地調査において把握すべきポイントと 円滑な支援活動のために配慮すべきこと」 講義：20分 GW：20分	若松区事務所 事務所長 宇都宮 慎吾
16：00 ～16：40	40分	テーマ3 「被災した世帯の生活再建に向けて、 社協としてできること」 講義：20分 GW：20分	八幡東区事務所 事務所長 近藤 広一
16：40 ～16：55	15分	全体共有	活動推進課 課長 南里 佳代子
16：55 ～17：00	5分	閉講にあたって	地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	36人	36人	50人	—才			2日	6日
	6・30	100%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	33件	満足できたか?	29	4	0	0	0
	91.7%		87.9%	12.1%	0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉教育が、単なる伝達ではなく、人と人との関わりを通じて、気づきや共感を育むものであることを改めて認識しました。</li> <li>災害時に限らず、社協職員としての心構えも改めて認識できた。日頃から関係機関・団体とのつながりを大切にしているからこそいざというときに対応できたと思った。</li> </ul>
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>『地域との関係づくりのための10のポイント』や『小・中学生に興味をもってもらえる話し方のポイント』は、職員がより良い『ふくしの出前授業』を行うための新たな視点での気づきとなった。</li> <li>発災時は、被災地の状況や支援者のマンパワーに応じて、支援に必要な役割が要求されることから、訓練の一環としてグループワークの役割分担を事前に決めずに対応していく実践的な研修となるよう、内容の検討を重ねて実施した。</li> </ul>
--------------------	--

■ 研修風景

<p>「二日目『福祉でまちづくり』の主体を育てるための福祉教育とは？社協が学校に関わる意義を考えよう」</p>		<p>「二日目『平時からのネットワークづくりと発災時の地域との関わり・情報収集』</p>	
<p>「二日目『現地調査において把握すべきポイントと円滑な支援活動のために配慮すべきこと』</p>		<p>「二日目『被災した世帯の生活再建に向けて、社協としてできること』</p>	

